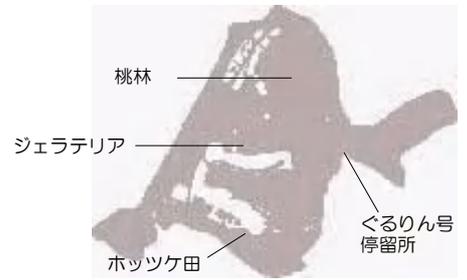


古河総合公園だより

発行日：2005年6月15日 編集：古河総合公園パークマスター 発行者：(財)古河市民公社
住所：〒306-0041 古河市鴻巣 399-1 古河総合公園管理棟 E-mail：iwahori@city.koga.ibaraki.jp



4月下旬～5月中旬 桃林 野草が一面に咲く 桃林になりました

総合公園では、環境にやさしい管理を心がけて、除草剤を、できるだけ使わないようにしています。

桃林も、今年の春から、除草剤の散布をやめました。今年は、野草が一面をおおう林へと生まれ変わりました。5月下旬より一斉に草刈りをしています。これから、どんな野草が出てくるか楽しみです。



セイヨウタンポポが一面に咲いた桃林。一面、ワタボウシになると、子供たちも大喜び。草地におおわれることで、雨の時に土が流れるのを防ぐ効果もあります。



ニワゼキショウの群落
高さ 10cm 程。紫や白の花
が一面をおおう所もあり
ました。花期 5～6月。



ハルジオンの群落
高さ 30～100cm 程。白ま
たは薄いピンクの花が咲
く。花期 5～7月。

6月4日(土)から ジェラテリア 初めてのころみ 総合公園の生梅を販売

「総合公園の梅の実を使えるようにしたい」との市民の声を、古河総合公園づくり円卓会議を通じて検討。このたびジェラテリアで生梅を販売しました。



1kg 300円で販売。
10時の開店前にお越しになったお客さんもいました。お客さんの声「梅酒や梅ジュースを作ってみるわ」「公園に梅があるのを知りました。」など



今回は、シルバーさんたちで収穫。



写真の梅の実は、一本の木から収穫できたもの。一本の木に 50kg 程の実がなっているものもありました。

◆ 古河総合公園 花ファイル NO.52 ◆

●タイサンボク●

[科名] モクレン科、常緑高木

[樹高] 10～20m程

[花] 白色

[花期] 5～6月

園内では、芝生広場の北東の縁に1本だけ植栽されている。

葉は、大きさ 12～25cm 程。光沢があって、固くパリパリしているのが特徴。

花は、直径 50～60cm 程と大きい。甘い香りがする。





5月28日(土)

ホツケ田

ホツケ田で赤米の田植え体験とドジョウつかみ

「ぬるぬるして、気持ちいい」「足がぬけない！」と、どろんこになって田植えを楽しみました。小学校低学年を中心に参加51名。



5m×3m程の大きさの田んぼが三面。一面には、赤米を、他の二面には、コシヒカリを植えました。



休憩時間を使って、ヨシ笛に挑戦。

ヨシの先っちょの葉が丸まっている部分を使っての笛遊びです。

ほぼ全員の子もたちが、「ブー」と鳴らすことができました。

また、田植えの後、収穫まで半年間、どろんこクラブと称して、ホツケ田のお世話をしたいという方を募集。30名ほどの方が名乗りをあげました。

今後、田の草とりと田んぼの生き物観察(6/25)、稲刈り準備のための草刈りとヨシのバッターづくり(9/3)、稲刈り(9月下旬)、脱穀(10月上旬)を経て、おにぎりパーティー(11月上旬)に向けて、がんばります。

来年度は、稲を育てたり、田んぼを耕すところから、市民参加できるプログラムを考えています。



5月18日(水)

総合公園スタンプラリー

古河総合公園づくり円卓会議を通じて開発された、古河1小から7小の校章の雪の結晶スタンプ。

このたび、古河第四保育所が、このスタンプを使って、スタンプラリーを開催。



園内7カ所にポイントを作って、親子でまわりました。先生のコメント「大成功でした。楽しかったです」

第四保育所で作ったスタンプ帳。→小学校の課外授業でもやってみませんか。



5月27日(金)

ぐるりん号(西コース)の管理棟前停留所に看板



4月から、ぐるりん号西コースに総合公園管理棟前が加わりました。

このたび、市民公社で手作りの看板を設置。

これまで総合公園までの交通の便がなかった西コースのみなさん、たまには公園でお散歩いかがですか。



古河総合公園 俳句大会・春の俳句大会 選考結果

選考日/五月三十一日、選考協力/古河俳句協会

公園俳句大会(二〇〇四年五月〜二〇〇五年二月)・総数四〇句

○秀作

梅映いて日向見の丘駆けのぼる
曲がり屋をすっぽりつつむ寒さかな
暮き替えて春引き寄せる民家園
(田村トシ子、五霞町)
(阿久津勝利、宇都宮市)
(浜名保、杉戸町)

○佳作

ありったけの声土用の孔雀鳴く
にこり川目がな往来の銀やんま
釣り人にはなれて二羽の残り鴨
御所沼に柳散り込む捨て小船
御所沼の水に子等の声高し
(蓮見純子、加須市)
(中村千代子、古河市)
(中村千代子、古河市)
(加藤三辰、鳩ヶ谷市)
(加藤三辰、鳩ヶ谷市)

春の俳句大会(二〇〇五年三〜四月)・総数七五句

○秀作

座りいて桃に染まりし老夫婦
桃林に大道芸の析の音かな
鳩の声くぐもり長閑古河の里
声上げて走り来る子や桃の花
借景は島の釣人桃三分
柳芽のひかりきらりと桃むすめ
(鈴木哲也、春日部市)
(加藤三辰、鳩ヶ谷市)
(加藤三辰、鳩ヶ谷市)
(飯塚寿江、鷲宮町)
(五郎丸直彦、久喜市)
(横島李邨、岩井市)

○佳作

前向きになって暮すや柳の芽
桃園に春の陽の差す車椅子
歓声を春風にのせ桃の里
見得を切る孔雀に喝采桃の客
桃の花人にやさしき道ばかり
桃園に添乗員の白い旗
桃咲いて鳩小走りの日和かな
二千本の桃に染まりし一日かな
まほろばの色を模裾にももの花
(宮本千エ、栗橋町)
(小林洋子、筑西市)
(須賀文子、野田市)
(五郎丸直彦、久喜市)
(鈴木哲也、春日部市)
(池田晴之、宮代町)
(浜名保、杉戸町)
(峰幸子、横浜市)
(飯塚寿江、鷲宮町)

次回開函は、二〇〇六年二月末日

・あなたも、総合公園の四季を十七文字に託してみませんか

・授業で俳句をならったちびっ子は、挑戦してみよう!